

e g g ;

代表者 畑野亜麻衣(医学M1年)
構成員 池田風花(理工学M1年)越智郁(理工学M1年)三浦まゆ(理工学M1年)
植田真帆(工学B3年)中森知佳(工学B3年)

1. プロジェクトの目的

現在の山口大学工学部の女子学生の割合は、学部生 13.7%、博士前期(修士)課程 10.8% と増えては来ているものの、学科や研究室単位で見るとまだまだ女子学生は少ないのが現状である。本プロジェクトは、工学部の女子学生で今年度発足した団体である。我々はマイノリティであるがゆえの悩みや、今後女性の少ない男性社会で女性ならではのライフイベントを乗り越えどう生き抜いていくかなどの将来への不安を抱え、不安を押しつぶし勉学に励む工学部女子の現状を少しでも緩和したいと活動している。

2. プロジェクトの内容

本プロジェクトの内容は主に3つである。

1 つ目は、工学部の女子学生同士のつながりをつくることである。工学部は学部でも女子が少ないが、大学院進学時にその少ない女子が減り友達がなくなることも多々ある。ちょっとした悩みでも、周りに話せる人がいなければやがて大きな悩みとなることもあり、勉学に集中できなくなり本末転倒してしまうこともある。そこで、少ない工学部女子同士が仲良くなる場を造りたいと考えている。

2 つ目は、このような女性だけを優遇しているように感じられるプロジェクトの本質をきちんと理解してもらうことである。2020年までに女性社員、女性管理職を20%以上にしなければいけないため、企業は女性特別採用枠を設けるなど女性を積極的に採用しようとする動きが高まっている。女子学生にとっては差別されず採用されるいい時代だと感じるが、男子学生や苦勞されてきた女性の方など女性を優遇することを不快に感じる人も居る。そこで、精神的に追い詰められず女性が働いていくうえで避けては通れない周囲の理解を得ることも目標としている。

3 つ目は、ロールモデルの少ない工学系女性の働き方について考えることである。男社会で女性ならではのライフイベントを乗り越えどう生き抜いていくか、学生個人で答えが出せないこともある。そこで就活セミナーなどを行い、人生の先輩の経験談などを聞くことで就職活動や人生設計の役に立てたいと考えている。

3. 活動状況

3-1 工学部 M1 女子会

工学部の学科を越えた横のつながりというテーマで、工学部の M1 女子学生の LINE グループを作成し、6月2日には常盤工業会館で M1 女子会を開催することができた。学科(専攻)を越えた横のつながりができたことで、普段の授業を一緒に受講、他愛のない話をできる友人が増え学生生活がより楽しくなった。



M1 女子会準備風景

3-2 討論会

「ぶっちゃけ!!こーがくぶ」という討論会を行いました。我々は女子学生のみで活動しており，意見やプロジェクトに偏りが出てしまう。そこで，ボランティア男子学生 4 名にご協力いただき工学部の環境や実態について討論会を行った。

その結果を報告書にまとめ，工学部長に提出した。

4. 今後の予定

本プロジェクトで今後予定している企画について述べる。

就活セミナー，講演会など工学部女子が将来について考える機会を造ろうと企画している。

また，工学部女子会という学科，学年，国籍を超えた女子学生同士の交流会を企画している。